

巳午のいわれ

戦乱の時代に、戦いを終えて帰郷する兵士たちが『亡くなった友は二度とお正月を迎えられない』ことを哀れみ、せめて生き残った自分たちで、亡くなった方のお正月を祝ってやろうと行ったのが、始まりといわれています。

この行事は、その年に亡くなった人、すなわち新仏を供養するための一足早いお正月として慣習化され、12月の第一または、第二の巳の日に行います。

(昔は、夜中に行いましたが現在は正午頃集まる人が多いようです。)

準備する物

- ①しめ飾り2組(自宅小祭壇用)(墓地用)…… 指定日に配達
- ②つえ・ぞうり …………… 指定日に配達
- ③御霊供膳 …………… 指定日にクール宅急便で配達
- ④重ね餅 大(自宅小祭壇用) 小(墓地用) … 当日6時より順次配達
- ⑤すや餅(お雑煮用) …………… 当日6時より順次配達
- ⑥万頭 …………… 当日6時より順次配達
- ⑦返礼品 …………… 当日6時より順次配達
- ⑧吸い物(お雑煮用)・おもてなしのお料理 …… 当日7時より順次配達
- ⑨お菓子・果物等のお供え …………… ご準備下さい

方法

- 1 ご自宅に小祭壇を準備(仏壇でされる方もいらっしゃいます)
- 2 祭壇に餅(大)、しめ飾り、御霊供膳、お菓子等をお供えする。
- 3 墓地に行き清掃し、しめ飾り、餅(小)、つえ・ぞうりを飾ってお参りする。
- 4 仏壇と墓地に飾ったしめ飾り(両方)を焼き、餅をあぶる。
- 5 あぶった餅を全員で引っ張り合いちぎって食べるか、包丁で切り、肩越しに後ろの方に渡し、残さず全部食べて帰る。
- 6 お雑煮を炊き、新仏様と一緒に飲食をして正月をお祝いする。

ご参考

お墓がない場合は、玄関先で行う場合があります

自宅小祭壇は当日か翌日に片づけお墓のつえ、草履は、小正月(1月15日)まで飾ります
四十九日の忌明け法要が終えられていない新仏様は翌年に行います。

※一般的な方法ですが、地域、墓地によって異なります